

第28回 岡大サイエンスカフェ

草を食べる動物の秘密

講師 岡山大学大学院自然科学研究科(農学部)
教授 坂口 英

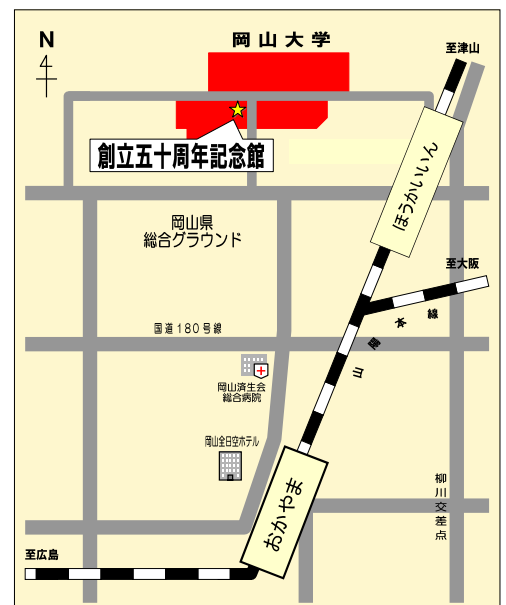


ヒトは草だけを食べて生きていくのは困難ですが、ウシやヒツジ、ヤギは草だけ食べても元気においしいミルクや肉を生産してくれます。それができるのは、ウシたちが消化管の前の方に大きなタンク(反芻胃)を備えており、そこで細菌や原虫などの微生物が草を消化してくれるからです。ところで、地球上の草を食べて生きる哺乳動物(草食動物)には、ゾウのような巨大な動物からウサギやネズミ類のような小型の動物まで幅広い体重分布が見られます。しかし、ウシのような反芻胃を備えている草食動物種は、幅広い体重分布のなかで限られた範囲にしかいません。特にウサギのような小型の動物たちは、ウシとは全く異なった草の利用方式をとっています。なぜそうなのでしょう。その理由や動物の消化管の構造・機能の多様性についてお話します。



参加者募集

- ◆開催日時
平成24年2月7日(火)
午後6:00~7:30
- ◆開催場所
岡山大学創立五十周年記念館2階
- ◆申込先
岡山大学研究推進産学官連携機構 社会連携本部
TEL: 086-251-7112 FAX: 086-251-8467
E-mail: s-renkei@adm.okayama-u.ac.jp
http://www.okayamau.net/renkei/contents/04_04.html
氏名・年齢・連絡先は必ず明記してください
- ◆締め切り
平成24年2月3日(金) 午後5時
- ◆参加費
無料(飲みもの含む)
- ◆問い合わせ先
社会連携本部 青山・松田 TEL: 086-251-7112



本催しはJSTイノベーションブランチ岡山の協賛を受けております